

平成^{せい}29年度

熊本^{くまもと}県学力調査^さ
「ゆうチャレンジ」
小学校 第3学年 国語

- 問題^{もんだい}は ① ～ ④ で、8ページまであります。
- 答えは、問題用紙の「かいとうらん」に書いてください。

年 組 番	
名 前	

熊 本 県 教 育 委 員 会

たか子さんのクラスでは、朝の会でテーマを決めてスピーチをしています。次は、二人組を作って、スピーチの練習をしている様子です。スピーチの題は、「わたしのたから物」です。ゆうじさんは、たか子さんのスピーチを聞いて、しつ問や感想をのべています。たか子さんは、ゆうじさんの意見を聞いて、つけくわえをしています。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

ゆうじ それでは練習を始めましょう。たか子さん、スピーチをおねがいします。
たか子 はい、わかりました。

わたしのたから物は、自分で作った毛糸のかざりです。このかざりをたから物にえらんだ理由は、大すきなおばあちゃんといっしょに作ったからです。はじめて作った時はむずかしくてじょうずに作れなかったけれど、おばあちゃんがやさしく教えてくれたのでじょうずに作れるようになりました。これから、大切にしたいと思っています。

たか子 これでスピーチは終わりだけど、ゆうじさん、どうだったかな。
ゆうじ とてもよかったと思うよ。とくに、毛糸のかざりをたから物にえらんだ理由がよくわかったよ。おねがいがあるんだけど、毛糸のかざりは、どのように作るのかも教えてほしいな。

たか子 ありがとう。それでは『じょうずに作れるようになりました。』のあとに、作り方をつけくわえて言うてみるから、聞いてね。

その作り方は、まず、毛糸をじょうぎにぐるぐるとまきつけます。**ア**、まきつけた毛糸をそつと取ります。さい後に、真ん中を糸でむすび、わになっているところをはさみで切ったらできあがりです。おばあちゃんに教わって自分で作ったたから物を大切にしたいと思います。

ゆうじ よくわかったよ。それでは、全部のスピーチを聞いた感想を言うね。たか子さんは、はじめに、たから物をしようかいして、その後で理由や作り方をくわしく話しているのでわかりやすかったよ。言葉づかいもとてもいいねいだったと思うよ。ぼくも、さんこうにしたいな。



毛糸のかざり

(1) ゆうじさんはなぜ――部のようなしつ問をしたのでしょうか。その理由として正しいものをアからエまでの中

から一つえらんで、その記号を書きましょう。

ア 毛糸のかざりがどのようなものかくわしく知れたかつたから。

イ 毛糸のかぎりの作り方をくわしく知れたかったから。

ウ　たか子さんのスピーチの内ようをたしかめたかったから。

エ
たかさんのスピーチで聞き取れないところがあったから。

(2) じゅんじょくせつ明するために、アに当てはまる言葉を書きましょう。

ア

に当てはまる言葉を書きましょう。

(3) あなたも「わたしのたから物」というテーマでスピーチをします。ゆうじさんが感想でのべていたたか子さん

のスピーチのよさをさんこうにして、自分のスピーチのはじめの二文を書きましよう。

※ただし、◆から書き始め、だん落をかえずにそのままつづけて書きましょう。

[illegible]

④ ③

②

①

2

次の問題に答えましょう。

- (1) 次の文の――部の漢字の読みを、ひらがなでいいいに書きましょう。

い

える

⑤

- ① かばんが軽い。

- ② 来客が多い。

- ③ 服そをを整える。

- (2) 次の文の――部のひらがなを、漢字でていいいに書きましょう。

かい

⑥

- ① れっしやに乗る。

- ② はのちりようをする。

- ③ あたたかいスープ。

- (3) 次の文の主語とじゅつ語はどれですか。あとのに書きましょう。

に書きましょう。

きれいなコスモスの花が庭にたくさんさいた。

主語

じゅつ語

⑦

- (4) 次の俳句の季語は「雪とけて」です。この俳句のよまれた季節はいつでしょう。下のに漢字一字で書きましょう。

雪とけて 村一ばいの 子どもかな

小林 一茶

⑧

(5)
左
の

の中の文章を、原こう用紙の使い方に気をつけて、あとの□に正しく書き直しましょう。

夕方、ぼくは、犬のチョコとさんぽをした。チョコは、はなをぴくぴくさせて、歩いていたので、ぼくは、「チョコ、なにか見つけたの。」と、聞いてみた。おいをかきながら

(6) 次の文章の①と②の「こそあど言葉」がさしている言葉を、文章の中からさがして、に書きましょう。

わたしはふと、顔を上げて空を見ました。①そこには、白く細くのびたひこうき雲が見えました。とてもきれいだっただから、「②あれを見て。」と、友だちに言いました。

①
そこ

② あれ

次の「」のあらすじと、の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

(あらすじ) 旅に出た小さな風の子は、どこに行ってもよろこばれず、ひとりぼっち。ある日、いちようの木に、自分の葉っぱをすべて落として、こねこを守ってほしいとたのまれました。風の子が、いちようの葉っぱをすべて落とすと、こねこはその中にもぐりこみました。しかし、風の子は、こねこをおいてひとりぼっちにするのが心配ばいです。そこに、女の子とおばあさんがやってきました。

(1) — 部① 「あのいちよう」と同じものを表す言葉があります。文章の中からさがして書きましょう。

(2) — 部② 「いきなりくるくるくるとまわりだしました。」とありますが、風の子はどんな気持ちだったでしょう。文章から読み取ったことをもとに、あなたの考えを書きましょう。

(3) — 部③ 「ああ、ことり！金のことり！」の中の「金のことり」は、何をたとえていますか。正しいものをアからエまでの中から一つえらんで、その記号を書きましょう。

ア おばあさんと女の子 イ 北風の子 ウ 三角の葉っぱ エ まっ黒こねこ

(4) — 部③ 「ああ、ことり！金のことり！」を音読するときに、明るく楽しそうに読んでいる人がいます。なぜ、そのように読んでいるのでしょうか。場面の様子を想像^{そう}して、あなたの考えを書きましょう。

ホウセンカ（ツリフネソウ科）



花の特ちょう

ホウセンカは、20～80cmのせただけで、ギザギザの葉っぱが生えています。5月ごろにたねをまくと、7～9月には、葉のわきに2～3りんの花をつけます。かれたら丸い実をつけ、実が黒くなると、さわっただけでたねがはじけとびます。

たねのまき方

指で土に5mmくらいのあなを開けます。たねをそのあなに入れたら、土をすこしかけて水をやりましょう。3つぶずつまいて、めが出たら、元気なめだけをのこして、あとはぬきましょう。

育て方

日当たりがよく、しっ気が多いところで育てるとよく育ちます。土の表面がかわいたら水をやります。とくに夏は毎日やりましょう。

ひりょうは？

ひりょうはあまり必要ありません。6月ごろに少しやります。

2年生のみなさんへ

こんにちは。勉強は楽しいですか。3年生になったら、理科の学習が（ア）始まります。理科の学習では、かんさつや実けんが（イ）ある。楽しみにしてください。

3年生の理科では、ホウセンカを育てます。わたしたちが大切に育てたホウセンカからたねがとれました。そのたねを2年生のみなさんに（ウ）おくります。5月ごろに3つぶずつたねをまいてください。元気に育てるくふうも（エ）調べました。

ぜひ、（オ）育ててみてください。

元気に育てるくふう

① 日当たりがよいところで育てましょう。

②

③

南小学校 3年1組
さかいたかし

【図かん】

4 たかしさんの学級では、理科の学習で育てたホウセンカのたねを、育て方を書きそえて2年生にわたそうと計画しました。【図かん】とたかしさんが書いた【育て方についての手紙】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【育て方についての手紙】

(1) 【図かん】の中にある説明を読んで、次のアからエと合うものを線で結びましよう。ただし、アからエのそれぞれに一つずつ結びましよう。

ア せたけ・

・ 七月から九月に葉のわきに二から三りんつける。

・ 七月から九月に一番上に二から三りんつける。

イ 葉・

・ ギザギザの形

・ 十から二十センチメートル

・ 黒くなるとさわっただけでたねがはじける。

・ 三角の形

エ 実・

・ 二十から八十センチメートル
・ 小さくてたくさんの実をつける。

(2) 【育て方についての手紙】の(ア)から(オ)の中から、二年生へ書く手紙として、書き直した方がよいものの記号を一つえらび、正しく書き直ましよう。

記号

書き直したもの

⑬

⑭

(3) たかしさんは、図かんで調べて、元気に育てるくふうを手紙に書きました。【図かん】をもとに、あなたなら何を書きますか。次の【書き方】に気をつけて、下の②に書きましよう。

②

③

に書きましよう。

【書き方】

- 元気に育てるくふう①の書き方をさんこうにすること。
- 【図かん】の中の育て方のくふうを、下の②③に一文で書くこと。
- 漢字や言葉づかいに気をつけて書くこと。

②

③

⑳ ⑲ ⑱

これで、問題は終わりです。